

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信 託 期 間	無期限（設定日：2023年6月8日）	
運 用 方 針	SBI・V・新興国株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、中国を含む新興国の株式市場のパフォーマンスを示す株価指数であるFTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI・V・新興国株式インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド（ベビーファンド）	投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針	年1回（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第3期

（決算日：2026年6月10日）

SBI・V・新興国株式 インデックス・ファンド （愛称：SBI・V・新興国株式）

追加型投信／海外／株式／インデックス型

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「SBI・V・新興国株式インデックス・ファンド（愛称：SBI・V・新興国株式）」は、2026年6月10日に第3期決算を行いました。
ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、
レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiasset.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率		
(設 定 日) 2023年 6 月 8 日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 97
1 期(2024年 6 月10日)	12,296	0	23.0	12,748	27.5	98.7	952
2 期(2025年 6 月10日)	13,068	0	6.3	13,496	5.9	98.4	1,517
3 期(2026年 6 月10日)	17,745	0	35.8	18,693	38.5	99.1	2,884

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
(注3) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注5) ベンチマークはFTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注6) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注7) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2025年 6 月10日	円 13,068	% —	13,496	% —	% 98.4
6 月末	13,321	1.9	13,829	2.5	99.5
7 月末	13,915	6.5	14,560	7.9	98.1
8 月末	14,122	8.1	14,552	7.8	98.5
9 月末	14,988	14.7	15,507	14.9	98.1
10 月末	15,856	21.3	16,576	22.8	98.2
11 月末	15,803	20.9	16,419	21.7	98.0
12 月末	15,917	21.8	16,623	23.2	98.1
2026年 1 月末	16,776	28.4	17,588	30.3	98.6
2 月末	17,189	31.5	18,026	33.6	98.4
3 月末	15,888	21.6	16,638	23.3	98.4
4 月末	17,627	34.9	18,538	37.4	98.5
5 月末	18,062	38.2	18,760	39.0	99.1
(期 末) 2026年 6 月10日	17,745	35.8	18,693	38.5	99.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) ベンチマークはFTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注5) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

ベンチマーク：FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）
FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み）とは、中国を含む新興国の株式市場における大型株、中型株および小型株のパフォーマンスを示す時価総額加重平均型の株価指数です。なお、FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）は、FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年6月11日から2026年6月10日まで）

○基準価額等の推移



（注1）ベンチマークは、FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

（注2）ベンチマークは、期首（2025年6月10日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

（注3）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

（注4）ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・AI関連の成長期待の持続
- ・米国のインフレ鎮静化による金融政策の緩和期待
- ・中国当局による景気刺激策への期待
- ・中東問題の早期解決
- ・新興国通貨の上昇

下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派的姿勢
- ・景気後退懸念の高まり
- ・中東問題の長期化
- ・グローバルなリスクオフ
- ・新興国通貨の下落

○投資環境

＜新興国株式市場＞

当期の新興国株式市場は上昇しました。期初から2025年8月初旬にかけては、中国政府による景気下支え策や市場安定化への期待から中国株が相場を下支えしたほか、半導体関連銘柄を中心とした東アジア市場の堅調な推移もありました。一方で、米国ではインフレ懸念を背景に長期金利が上昇し、新興国市場全体では上値の重い展開となりました。その後、8月後半にはインフレの落ち着きや底堅い景気指標を受けて、下落圧力は和らぎました。

9月は、米景気減速懸念から一時下落しましたが、FRBの利下げ観測や中国の追加景気対策期待を背景に反発しました。

10月から12月にかけては、米国の堅調な経済指標を背景に金利高止まり・ドル高基調が続き、中国景気の不透明感も重石となったことから上値の重い展開となりました。一方で、半導体関連銘柄や一部新興国市場は底堅さを維持し、全体としては方向感に乏しい推移となりました。

2026年に入ると、米金融政策の緩和期待や東アジアハイテク株の堅調を背景に上昇しました。2月末ごろから3月にかけては、米国によるイランへの軍事行動開始により、ホルムズ海峡封鎖懸念などから、原油価格急騰、サプライショックへの懸念が高まり投資家のリスク回避姿勢が強まり、市場は下落しました。その後は、米・イランの和平協議の進展への期待により反発する局面が続いた後、5月に入り、和平交渉の進捗状況を巡り上下する動きが続きました。期末にかけては、AI関連需要の拡大を背景とした東アジアを中心とした半導体関連銘柄の上昇に支えられたこともあり市場は上昇傾向となりました。6月ごろからは、米国で利下げ期待の後退が見られたこと、新興国のインフレ高止まりによる利上げ懸念、中国経済鈍化への懸念、米ハイテク株の変調などから、市場は軟調となりました。

＜外国為替市場＞

当期の米ドル円相場は145円近辺で始まり、夏場にかけては米金利の高止まりを背景に円安ドル高が進行し、150円前後まで上昇しました。その後、米インフレ指標の落ち着きや利下げ観測の高まりに加え、日本の通貨当局の円安けん制などをを受けて円高方向に転じる場面も見られましたが、日銀の金融政策正常化を巡る思惑とともに、方向感に乏しい推移となりました。

秋口以降は、米国経済の底堅さを示す指標や長期金利の上昇を背景に円安基調が強まり、2025年10月から年末にかけては概ね150円台後半で推移しました。年明け以降も米金利の高止まりや日米金利差の大きさが意識され、円安ドル高圧力が継続しました。

その後、中東情勢の緊迫化を背景としたリスク回避の動きから一時的に円高に振れる場面もありましたが、為替市場全体としては円安基調が維持され、期末にかけては160円近辺まで上昇しました。

総じて、期を通じては日米金利差を主因とした円安ドル高基調で推移し、期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

主要投資対象であるSBI・V・新興国株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<SBI・V・新興国株式インデックス・マザーファンド>

中国を含む新興国の株式市場の動きを捉えることをめざすFTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・FTSE・エマージングマーケット ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

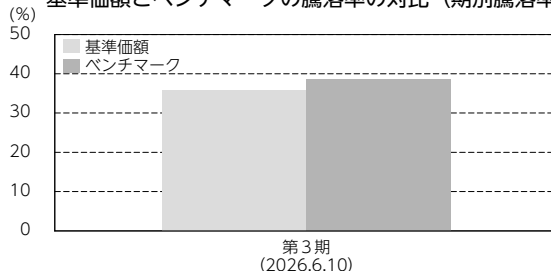
なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.1%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は+35.8%となり、ベンチマークである「FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である+38.5%を概ね2.7%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



(注) ベンチマークはFTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）です。詳細はP1をご参照ください。

○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。
なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 3 期
	2025年 6 月11日～ 2026年 6 月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,745

(注 1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注 2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、主要投資対象である『SBI・V・新興国株式インデックス・マザーファンド』を高位に組入れます。

<SBI・V・新興国株式インデックス・マザーファンド>

引き続き、「バンガード・FTSE・エマージングマーケット ETF」を主要投資対象とし、中国を含む新興国の株式市場のパフォーマンスを示す株価指数であるFTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 6 月11日～2026年 6 月10日)

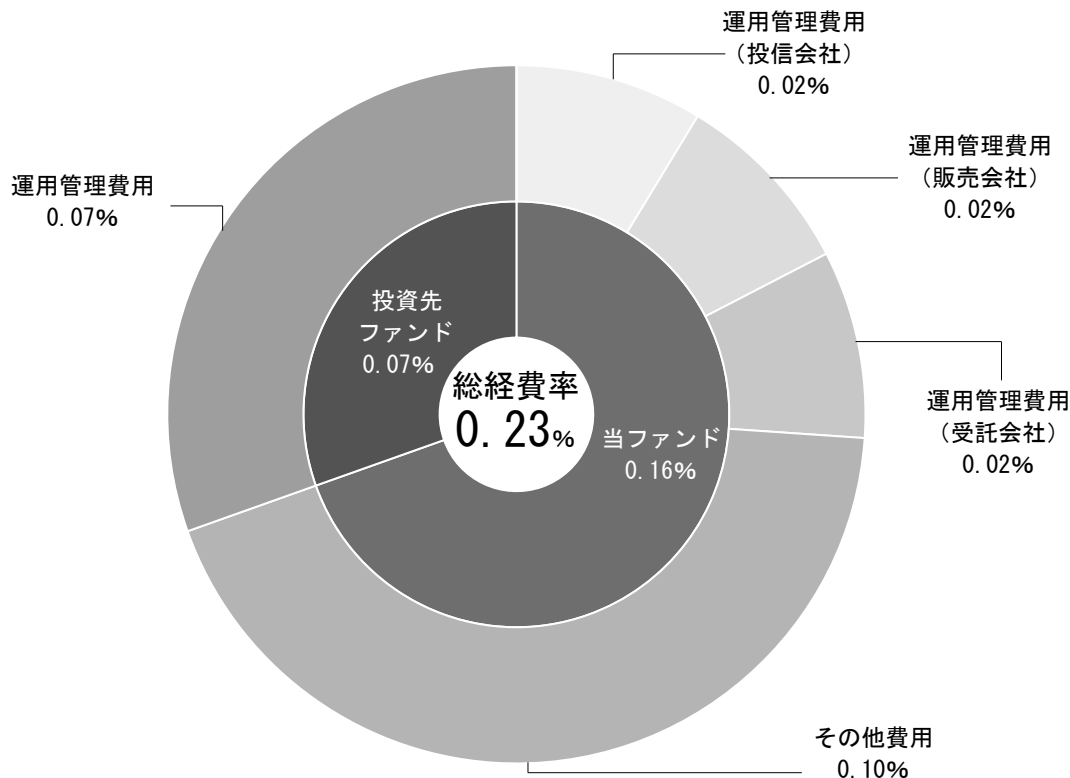
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	10 (4) (4) (2)	0.064 (0.024) (0.024) (0.015)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷)	15 (4) (5) (6)	0.097 (0.026) (0.030) (0.040)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	25	0.161	
期中の平均基準価額は、15,788円です。			

- (注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注 3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
- (注 4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注 5) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率(年率)**は**0.23%**です。



総経費率 (①+②)	0.23%
①当ファンドの費用の比率	0.16%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.07%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年6月11日～2026年6月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
SBI・V・新興国株式インデックス・マザーファンド	791,654	1,261,680	330,262	520,720

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年6月11日～2026年6月10日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年 6月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄 名	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
S B I ・ V ・ 新 興 国 株 式 イ ン デ ッ ク ス ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 1, 158, 692	千口 1, 620, 084	千円 2, 886, 343

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2026年 6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
S B I ・ V ・ 新 興 国 株 式 イ ン デ ッ ク ス ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 2, 886, 343	% 99. 8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4, 841	0. 2
投 資 信 託 財 産 総 額	2, 891, 184	100. 0

- (注1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注2) S B I ・ V ・ 新 興 国 株 式 イ ン デ ッ ク ス ・ マ ザ ー フ ァ ン ド において、当期末における外貨建て純資産（2, 855, 132千円）の投資信託財産総額（2, 904, 759千円）に対する比率は98. 3%です。
- (注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、6月10日における円換算レートは、1ドル＝160. 45円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年6月10日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	2,891,184,095円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	20,688
SBI・V・新興国株式インデックス・マザーファンド(評価額)	2,886,343,407
未 収 入 金	4,820,000
(B)負 債	6,263,821
未 払 解 約 金	4,810,810
未 払 信 託 報 酬	809,401
そ の 他 未 払 費 用	643,610
(C)純 資 産 総 額(A－B)	2,884,920,274
元 本	1,625,762,908
次 期 繰 越 損 益 金	1,259,157,366
(D)受 益 権 総 口 数	1,625,762,908口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C／D)	17,745円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	1,161,256,699円
期中追加設定元本額	795,105,746円
期中一部解約元本額	330,599,537円

○損益の状況 (2025年6月11日～2026年6月10日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	3円
受 取 利 息	3
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	556,093,300
売 買 益	626,834,897
売 買 損	△ 70,741,597
(C)信 託 報 酬 等	△ 2,930,905
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	553,162,398
(E)前 期 繰 越 損 益 金	115,803,729
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	590,191,239
(配 当 等 相 当 額)	(227,584,618)
(売 買 損 益 相 当 額)	(362,606,621)
(G)計 (D + E + F)	1,259,157,366
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	1,259,157,366
追 加 信 託 差 損 益 金	590,191,239
(配 当 等 相 当 額)	(229,615,959)
(売 買 損 益 相 当 額)	(360,575,280)
分 配 準 備 積 立 金	668,966,127

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(48,451,874円)、費用控除後の有価証券等損益額(504,710,524円)、信託約款に規定する収益調整金(590,191,239円)および配準備積立金(115,803,729円)より分配対象収益は1,259,157,366円(10,000口当たり7,745円)ですが、当期に分配した金額はありません。

本ファンドは、FTSE インターナショナルリミテッド（以下「FTSE」といいます。）、ロンドン証券取引所（以下「LSEG」といいます。）（総称して、以下「ライセンス供与者」といいます。）のいずれによっても、支援、推奨、販売または販売促進するものではありません。

ライセンス供与者は、「FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス」（以下、「本指数」といいます。）の使用及びいかなる時点における本指数値の利用から生じるいかなる結果に対しても、明示的か黙示的かを問わず、何ら表明や保証を行うものではありません。

本指数はFTSEによって編集及び計算されます。ライセンス供与者は、本指数の誤りについて何人に対しても責任を負わず（過失の有無を問わず）、かつ本指数の誤りに関して通知する義務を負いません。

FTSE®はLSEGの商標であり、FTSEがライセンスに基づき使用しています。

第3期 運用報告書

(決算日 2026年6月10日)

SBI・V・新興国株式インデックス・マザーファンド

受益者のみなさまへ

SBI・V・新興国株式インデックス・マザーファンドの第3期（2025年6月11日から2026年6月10日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	中国を含む新興国の株式市場の動きを捉えることをめざすFTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。
主要投資対象	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額
		期 中 騰 落 率		期 中 騰 落 率		
(設 定 日) 2023年 6 月 8 日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	百万円 97
1 期(2024年 6 月10日)	12,313	23.1	12,748	27.5	98.6	952
2 期(2025年 6 月10日)	13,103	6.4	13,496	5.9	98.4	1,518
3 期(2026年 6 月10日)	17,816	36.0	18,693	38.5	99.1	2,886

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
(注3) ベンチマークはFTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2025年 6 月10日	円 13,103	% —	13,496	% —	% 98.4
6 月末	13,358	1.9	13,829	2.5	99.5
7 月末	13,956	6.5	14,560	7.9	98.1
8 月末	14,166	8.1	14,552	7.8	98.5
9 月末	15,037	14.8	15,507	14.9	98.0
10 月末	15,909	21.4	16,576	22.8	98.1
11 月末	15,857	21.0	16,419	21.7	97.9
12 月末	15,973	21.9	16,623	23.2	98.1
2026年 1 月末	16,837	28.5	17,588	30.3	98.6
2 月末	17,253	31.7	18,026	33.6	98.3
3 月末	15,949	21.7	16,638	23.3	98.4
4 月末	17,696	35.1	18,538	37.4	98.5
5 月末	18,134	38.4	18,760	39.0	99.0
(期 末) 2026年 6 月10日	17,816	36.0	18,693	38.5	99.1

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) ベンチマークはFTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

ベンチマーク：FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み）
FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み）とは、中国を含む新興国の株式市場における大型株、中型株および小型株のパフォーマンスを示す時価総額加重平均型の株価指数です。
なお、FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）は、FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2025年6月11日から2026年6月10日まで）

○基準価額等の推移



当マザーファンドの基準価額は期首13,103円から始まったあと、期末には17,816円となりました。期を通じて騰落率は+36.0%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2025/6/10	2026/6/3	2025/6/19	2026/6/10
基準価額（円）	13,103	18,589	13,005	17,816

○投資環境

＜新興国株式市場＞

当期の新興国株式市場は上昇しました。期初から2025年8月初旬にかけては、中国政府による景気下支え策や市場安定化への期待から中国株が相場を下支えしたほか、半導体関連銘柄を中心とした東アジア市場の堅調な推移もありました。一方で、米国ではインフレ懸念を背景に長期金利が上昇し、新興国市場全体では上値の重い展開となりました。その後、8月後半にはインフレの落ち着きや底堅い景気指標を受けて、下落圧力は和らぎました。

9月は、米景気減速懸念から一時下落しましたが、FRBの利下げ観測や中国の追加景気対策期待を背景に反発しました。

10月から12月にかけては、米国の堅調な経済指標を背景に金利高止まり・ドル高基調が続き、中国景気の不透明感も重石となったことから上値の重い展開となりました。一方で、半導体関連銘柄や一部新興国市場は底堅さを維持し、全体としては方向感に乏しい推移となりました。

2026年に入ると、米金融政策の緩和期待や東アジアハイテク株の堅調を背景に上昇しました。2月末ごろから3月にかけては、米国によるイランへの軍事行動開始により、ホルムズ海峡封鎖懸念などから、原油価格急騰、サプライショックへの懸念が高まり投資家のリスク回避姿勢が強まり、市場は下落しました。その後は、米・イランの和平協議の進展への期待により反発する局面が続いた後、5月に入り、和平交渉の進捗状況を巡り上下する動きが続きました。期末にかけては、AI関連需要の拡大を背景とした東アジアを中心とした半導体関連銘柄の上昇に支えられたこともあり市場は上昇傾向となりました。6月ごろからは、米国で利下げ期待の後退が見られたこと、新興国のインフレ高止まりによる利上げ懸念、中国経済鈍化への懸念、米ハイテク株の変調などから、市場は軟調となりました。

＜外国為替市場＞

当期の米ドル円相場は145円近辺で始まり、夏場にかけては米金利の高止まりを背景に円安ドル高が進行し、150円前後まで上昇しました。その後、米インフレ指標の落ち着きや利下げ観測の高まりに加え、日本の通貨当局の円安けん制などをを受けて円高方向に転じる場面も見られましたが、日銀の金融政策正常化を巡る思惑とともに、方向感に乏しい推移となりました。

秋口以降は、米国経済の底堅さを示す指標や長期金利の上昇を背景に円安基調が強まり、2025年10月から年末にかけては概ね150円台後半で推移しました。年明け以降も米金利の高止まりや日米金利差の大きさが意識され、円安ドル高圧力が継続しました。

その後、中東情勢の緊迫化を背景としたリスク回避の動きから一時的に円高に振れる場面もありましたが、為替市場全体としては円安基調が維持され、期末にかけては160円近辺まで上昇しました。

総じて、期を通じては日米金利差を主因とした円安ドル高基調で推移し、期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

中国を含む新興国の株式市場の動きを捉えることをめざすFTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・FTSE・エマージングマーケット ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.1%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は+36.0%となり、ベンチマークである「FTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である+38.5%を概ね2.5%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジションの差異などの要因があげられます。

○今後の運用方針

引き続き、「バンガード・FTSE・エマージングマーケット ETF」を主要投資対象とし、中国を含む新興国の株式市場のパフォーマンスを示す株価指数であるFTSE エマージングマーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 6 月11日～2026年 6 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料	円 —	% —	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	—	—	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	4 (4)	0.026 (0.026)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	4	0.026	
期中の平均基準価額は、15,843円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2025年 6 月11日～2026年 6 月10日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	口	千ドル	口	千ドル
	VANGUARD FTSE EMERGING MARKETS ETF	98,578	5,413	6,058	319
	小 計	98,578	5,413	6,058	319

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年 6 月11日～2026年 6 月10日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年 6 月10日現在)

外国投資信託証券						
銘 柄 名		期首(前期末)	当 期 末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	円換算金額	
(アメリカ) VANGUARD FTSE EMERGING MARKETS ETF		口 212, 471	口 304, 991	千ドル 17, 826	千円 2, 860, 297	% 99. 1
合 計	口 数 ・ 金 額	212, 471	304, 991	17, 826	2, 860, 297	99. 1
	銘柄数 < 比率 >	1	1	－	< 99. 1% >	

(注 1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注 2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年 6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	2,860,297	98.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	44,462	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	2,904,759	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 当期末における外貨建て純資産 (2,855,132千円) の投資信託財産総額 (2,904,759千円) に対する比率は98.3%です。
(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、6月10日における円換算レートは、1ドル=160.45円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年 6月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,910,214,231円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	44,460,925
投資信託受益証券(評価額)	2,860,297,857
未 収 入 金	5,454,858
未 収 利 息	591
(B) 負 債	23,923,603
未 払 金	19,103,603
未 払 解 約 金	4,820,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,886,290,628
元 本	1,620,084,984
次 期 繰 越 損 益 金	1,266,205,644
(D) 受 益 権 総 口 数	1,620,084,984口
1万口当たり基準価額(C / D)	17,816円

< 注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >
(貸借対照表関係)
期首元本額 1,158,692,512円
期中追加設定元本額 791,654,741円
期中一部解約元本額 330,262,269円
期末における元本の内訳
S B I ・ V ・ 新興国株式インデックス・ファンド 1,620,084,984円

○損益の状況 (2025年 6月11日～2026年 6月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	50,680,017円
受 取 配 当 金	50,341,228
受 取 利 息	338,789
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	577,025,226
売 買 益	577,106,692
売 買 損	△ 81,466
(C) そ の 他 費 用	△ 569,774
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	627,135,469
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	359,502,647
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	470,025,259
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 190,457,731
(H) 計 (D + E + F + G)	1,266,205,644
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,266,205,644

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜ご参考＞組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・FTSE・エマージング マーケッツ ETF	中国を含む新興国の株式	FTSE エマージングマーケット・オールキャップ (含む中国A株) インデックス	0.06%	ザ・バンガード・グループ・インク

組入上位10銘柄	比率
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	13.3%
Tencent Holdings Ltd.	3.7%
Alibaba Group Holding Ltd.	2.7%
Reliance Industries Ltd.	0.9%
China Construction Bank Corp.	0.9%
HDFC Bank Ltd.	0.8%
Delta Electronics Inc.	0.8%
Petroleo Brasileiro SA -Petrobras	0.8%
PDD Holdings Inc.	0.7%
Industrial &Commercial Bank of China Ltd.	0.7%

組入上位10業種	比率
テクノロジー	29.7%
金融	20.7%
一般消費財・サービス	10.3%
資本財・サービス	9.0%
素材	7.7%
エネルギー	5.1%
電気通信サービス	4.2%
生活必需品	3.9%
ヘルスケア	3.9%
公益事業	3.1%

出所：ザ・バンガード・グループ・インクの資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2026年3月31日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第3期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。